

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(4月19日から4月25日回答分)

	症例数	手術	
陽性	5	腹部外科	3
		帝王切開	1
		骨接合術	1

COVID-19疑い患者	1	婦人科開腹手術	1
--------------	---	---------	---

記載なし	1	泌尿器科手術	1
------	---	--------	---

事前シミュレーション実施	あり	5
	なし	2

自由記載

陽性	腹部手術	当院は元々軽症のみの受け入れ病院なので、コロナ患者の手術はしないと転院調整を行いましたが受け入れてくれる高次病院がなく、週末夜中の緊急手術となりました。体重が100kg近くBMI 35を超える症例だったため麻酔科医一人で挿管できるかどうか心配でしたが、あらかじめ用意したMcGRATH (X-blade使用)とイントロデューサで挿管でき、また術中バイタルも安定していたので助かりました。腹直筋鞘ブロックも効いていたようで創部痛の訴えも少なく経過は順調です。
	骨接合術	受傷後、他院の術前検査でPCR陽性であったため、感染指定病院である当院に転院となった。肺炎の進行が危惧されたことと、感染性の低下を待つため待機的に行った。
	腹部手術	準緊急手術。術前抗原検査陰性 lamp法検査待ち状態で入室。導入中にlamp法陽性判明。たまたま陰圧対策室で実施。 入室システムと運営上のルール不徹底によるトラブル。この症例により、入室システム見直し、ルール強化のきっかけとなった。続発する感染者は出なかった。その後の見解では、患者は、既往感染もしくは、感染後時間が経っていたことが推測された。
疑い	婦人科開腹手術	後で陽性が判明した。自分は常に疑いを持って十分な感染防御対策を行っている。
記載なし	泌尿器科手術	酸素化は患者マスクの上に酸素マスクを乗せて施行。導入時にマスク換気無し。SGA挿入の上自発呼吸での管理のため、患者の胸より上をビニールにて覆う。抜去もその中で施行。抜去後の口腔内吸引もその中で施行。

手術室で気管挿管	5	McGRATH	5
(喉頭展開1回で挿管)	(5)		
区域麻酔	1		
既挿管	0		
記載なし	0		
SGA	1		

PPE	フェイスシールド	2
	ゴーグル	4
	シールド付きマスク	1
	記載なし	0

N95	5
PAPR	1
サージカルマスク	1
手袋2枚	6
手袋1枚	1